

●地域経済レポート特集号 REGIONAL ECONOMIC REPORT

マルシェノルド

第34号



地域と公共交通

2013年12月、交通政策基本法が公布され、国、地方公共団体、交通事業者の責務や国民の役割が示されました。公共交通は暮らしに欠かせないものですが、人口減少、超高齢化時代を迎えて、これまでのようなスキームでは事業が成り立たない地域が出てきています。独自に公共交通サービスを守り、充実させている取り組みから、北海道における公共交通のあり方について考えていきます。

Contents

インタビュー

人口減少時代における地域公共交通のあり方…	1
東北大学災害科学国際研究所副所長、東北大学大学院工学研究科土木工学専攻教授 奥村 誠氏	

地域事例 ①

路線バスの再生 ……	8
～十勝バスの取り組みから～	

地域事例 ②

地域の暮らしの足を守る ……	13
～道内で実践されている地域交通の取り組みから～	

寄稿

地域の活性化を支える地域公共交通 ……	19
～新幹線開業を契機にした八戸市の挑戦～	
北海道大学公共政策大学院特任教授 小磯修二	

行政情報

スポーツ・体験型ツーリズムにおける海外へ向けた情報発信手法の検討 ……	26
国土交通省北海道開発局開発監理部開発調査課	

information 告知板

北海道経済学会第97回シンポジウム ……	29
第10回助成研究発表会 ……	33
土木技術者のための講習会開催のご案内 (CPDS対象) ……	37
平成27年度地域活性化活動助成募集のご案内 ……	38

開発Diary ……	39
------------	----

表紙の切り絵作家

三苦 麻由子 *Mayuko Mitoma*

東京都出身。武蔵野美術短大卒業後、広告代理店勤務などを経てフリーに。1994年札幌へ。みとままゆこのペンネームで、水彩、ペン、墨絵、切り絵など、さまざまなタッチでジャンルにこだわらず活躍中。本誌の表紙は、本号テーマ・イメージによるオリジナル作品。